

寄居町議会との交流会

1/22^木

於 寄居町役場

隣町の工場視察と交流会を終えて



一年でいちばん寒さが厳しくなる大寒の今日、寄居町議会との交流会に向きました。
昨年は令和の米騒動とも言われ、米不足や米の価格が全国的に高騰したこともあり、今日の研修先は議員全員、興味があつたと思います。
【株】諸長埼玉工場は、本社が新潟県魚沼市十日町にある日本精米工業会【精米HACCP】認定工場で、鉄骨2階建て、工場敷地面積27,000㎡(8,200坪)、延床面積1・2階合計13,500㎡、生産能力(精米重量)250t/日(7,500t/月間)90,000t/年、最新のFA(自動工場)を導入しています。又、工場敷地に隣接する諸長埼玉定温倉庫B倉庫も視察させていただきましたが、収容能力は常温帯:4,500t、定温帯:24,000tで、その広さにおどろきました。



諸長は県の企業局による産業団地の誘致だということです。美里町にも国や県に関わりのある企業に是非来ていただきたいものです。
視察が終わり、鉢形城歴史館を見学した後、意見交換会には峯岸寄居町長、原田美里町長を迎へ様々な意見をかわし有意義な一日を終えました。

美里町議会議員

根本 孝代

児玉郡町議会議員後期研修会

1/27^火

於 美里町役場

勘ではなく、データを見るとは？

議会が行うべき政策議論・政策提案とは何か
～データに基づく町の現状と課題について～

講師

(一社)地方公共団体政策支援機構
上席研究員 渡辺 太樹 氏



令和7年度児玉郡町議会議員後期研修会が開催され、美里町・神川町・上里町の議会議員が美里町役場を会場に一堂に会し、永年みなねんにわたる地方自治に貢献した各町の議会議員への自治功労表彰を挙行しました。その後、各町の町長や副町長の祝辞をいただいた後、一般社団法人 地方公共団体政策支援機構、上席研究員、渡辺太樹先生をお迎えし、「議会が行うべき政策議論・政策提案とは何か」をテーマにご講義いただきました。

今回の研修では「エビデンス・ベース・ポリシー・メイキング」というワードが出てきました。これは、証拠に基づき政策立案のことで、政策の企画をその場限りのエピソードや勘に頼るのではなく、政策的な明確化したうえで合理的根拠(エビデンス)に基づくものとするということです。簡単に言うと、町の課題を知るには、町の現状を数字やデータにして見ると、議論すべきテーマが見えてくるというものなんです。

私たち議会議員が、当たり前だけでも忘れてしまいがちな観点として、本来の目的である住民福祉の向上や地域の発達といった、住民の意思や思い、また地域の課題が、実は整理していくと数字やデータに現れてくるということを、改めて考えさせられる研修会となりました。

住民の声・地域の課題・エビデンスに目を向けながら、我が町が持続的に成長し続けられるよう、美里町議会は執行部とともに日々研究して参ります。

美里町議会議員

田端 恵美子